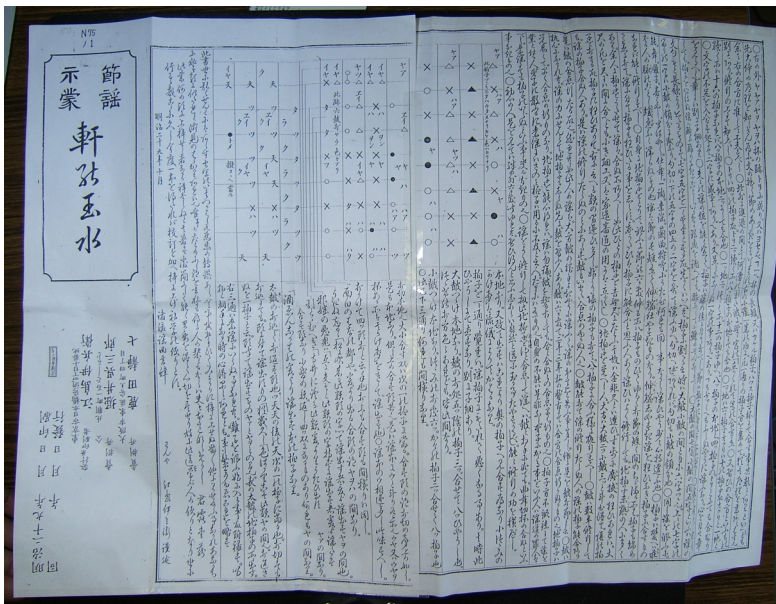
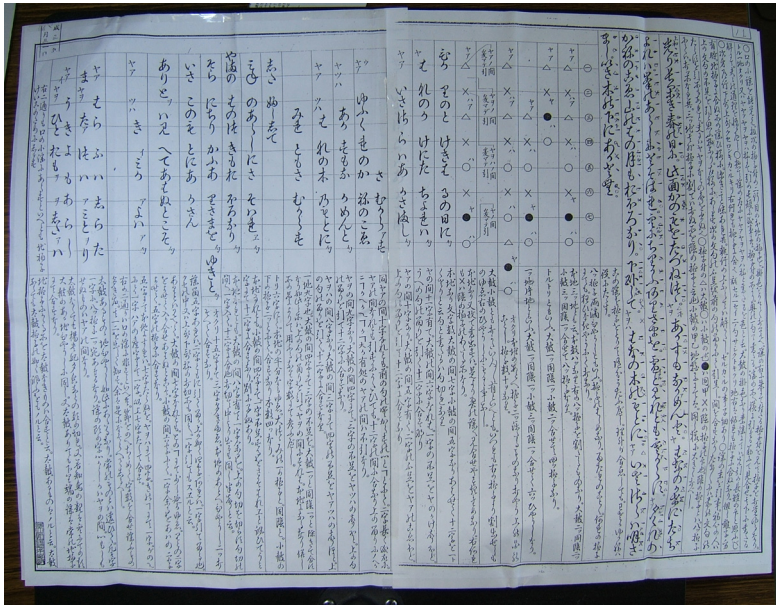


著者不明 『節謡示蒙 軒の玉水』

江島伊兵衛による新刻。内容としては、原版（8頁）と同じである。「謡の末を引事。初心の人ハ上の文句の不足を引と思ふ物なり。左様にあらす次の文句の不足を前の句の留りにて引足し。間を合すなり」と、初心者の勘違いを指摘し、謡の間の位置の独自性にふれている点が、地拍子教則本としてユニークであるといえよう。



標題 内題…

標題紙…

奥附…

その他…節謡示蒙 軒の玉水(表紙)

著者 奥附…

その他の場所…

出版 版次…第一版

出版地…東京

出版社…江島伊兵衛(発行・印刷)

出版年…明治29(1896)

その他の場所…跋 明治29(1896)

形態 冊数…一冊 頁数…

寸法…

状態 写本版本の別…版本 現物複写の別…複写

備考 国立能楽堂蔵。明治新刻。